

目 次

第一章 調査の概要

第1節	調査の目的・内容・方法等	1
1	調査の目的	1
2	調査の内容	1
3	調査の方法	1
4	調査結果の集計分析	1
第2節	調査の実施過程	2
1	調査対象の設定・標本(サンプル)の抽出	2
2	調査票の配布・回収・有効調査票の選定	3
第3節	回答者の属性	4
1	性別	4
2	年代別	4
第4節	報告書の見方	5
1	集計結果の見方について	5
2	クロス集計について	5
3	スピアマンの順位相関係数について	5

第二章 調査結果の概要～単純集計結果をもとに～

第1節	大分市の取組、宣言や法令等について	7
1	大分市の取組	7
2	人権に関する宣言や法令などの認知度	11
3	社会教育における人権・同和問題に関する学習機会	29
第2節	人権全般について	37
1	人権侵害を受けたときの対応	37
2	差別に関する考え方	39
3	交流	47
4	就職や結婚の際の身元調査	50
5	住居購入や入居の意向	52
6	日常生活の場面における人権意識	68
第3節	個別の人権課題について	87
1	インターネット上(SNS等を含む)の人権侵害	87
2	LGBTなど性的少数者の人権問題	93
3	新型コロナウイルス感染症に関する人権問題	100
第4節	同和問題(部落差別)について	102
1	学習機会	102

2	同和地区(被差別部落)に対するイメージ	110
3	同和地区(被差別部落)出身者と判断する基準	112
4	偏見の流布と受容	114
5	現状認識	122
6	結婚に対する意識	124
7	差別発言に対する態度	128
8	解消に向けての展望	130
9	差別の解消の方法に関する認識	134
第5節	ご自身のことについて	145
第6節	自由記述について	148

第三章 調査結果の詳細分析～新たな時代の人権教育・啓発の創造を目指して～

第1節	調査の意義と分析の視点	151
第2節	「差別解消三法」及び大分市独自の取組についての認知状況	153
1	「差別解消三法」の認知状況	153
2	大分市独自の取組の認知状況	153
3	第2節小括(まとめ)と課題	155
第3節	調査結果に見る差別の現実	156
1	同和問題(部落差別)に関して	156
(1)	土地差別の実態	156
(2)	差別的情報の流布とその受け止め	159
(3)	結婚差別	161
(4)	市民の認識	162
2	障がい者差別に関して	163
3	外国人差別に関して	164
4	LGBT など性的少数者への差別に関して	165
5	コロナ差別に関して	166
6	身元調査に関して	167
7	第3節小括(まとめ)と課題	168
第4節	「寝た子を起こすな論」を検証する	169
1	なお根強い「寝た子を起こすな論」	169
2	「寝た子」は起こされている	171
3	放っておけば差別的に起こされてしまう	172
4	第4節小括(まとめ)と課題	173
第5節	人権啓発活動の現状と効果検証	174
1	人権啓発活動の効果を確認するために	174
2	人権啓発活動の受講経験と「人権啓発センター(ヒューレおおいた)」および「本人通知制度」の認知	175
3	人権啓発活動の受講経験と差別や人権についての考え方	176

4	人権啓発活動の受講経験と身元調査	177
5	人権啓発活動の受講経験と部落差別(同和問題)の現場に居合わせた時の態度	178
6	第5節小括(まとめ)と課題	179
第6節	人権問題における市民の態度や行動に影響を与えているもの	180
1	本項の目的	180
2	同和問題(部落差別)の場合	180
(1)	分析の方法	180
(2)	態度や行動との相関係数とその意味	184
3	第6節小括(まとめ)と課題「同和問題(部落差別)の場合」	186
4	障がい者問題の場合	187
(1)	分析の方法	187
(2)	障がい者施設への忌避的態度との相関係数とその意味	188
5	外国人問題の場合	189
(1)	分析の方法	189
(2)	近隣に外国籍の住民が多く住んでいる不動産への忌避的態度との相関係数とその意味	190
6	第6節小括(まとめ)と課題「障がい者問題、外国人問題の場合」	191
第7節	おわりに～人権意識の課題と展望～	192

巻末付録

「人権に関する市民意識調査」調査票	193
-------------------	-----